

微孢子虫性鰓病 (*Loma salmonae*)

宿主：ニジマス、サクラマス、ベニザケ、マスノスケ等、北米に生息する *Onchorhynchus* 属のサケマス類。鰓、血管組織、腎臓、卵巣に寄生する。海水で養殖をしている時に、より病原性が強くなる。魚から魚へ水平感染し、感染メスでは卵へ垂直感染する。ギンザケやマスノスケの海水養殖で深刻な問題となっている。おそらく自然宿主は、サケ類以外の魚と思われる。

区分	手法名 (文献)	プライマー		反応温度条件	増幅産物 bp	備考	推奨度
		名称	配列 (5'-3')				
PCR	(Docker et al. 1997)	LS-1	CTGGATCAGACCGATTTATAT	94°C3分→(94°C1分、53°C1分、72°C1分)×35サイクル→72°C10分	272 bp		☆
		LS-2	ATGACATCTCACATAATTGTG				

文献

M. Docker, R.H. Devlin, J. Richard, M. Kent, Sensitive and specific polymerase chain reaction assay for detection of *Loma salmonae* (Microsporea), *Diseases of Aquatic Organisms* 29 (1997) 41-48.